

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 鳳鳴乃里幼稚園 (※正式名称を記載)

種 別 ☒保育園・幼稚園 ☐小学校 ☐小中一貫^{※注1}

☐中学校 ☐中高一貫^{※注2} ☐高等学校

☐教員養成大学 ☐専修学校、各種学校

☐特別支援学校

☐その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒840 - 2204

佐賀市川副町西古賀大字西古賀 897-5

E-mail s. m. h o u m e i @ g m a i l . c o m

Website

幼児児童生徒数 男子 55名 女子 50名 合計 105名

幼児・児童・生徒の年齢 0歳～6歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当園では「育」に関する3つのテーマとESDをもとにした教育方針で子育てに取り組んでいます。

具体的には、自然体験学習を柱に、①植物栽培、②泥んこ遊び、③園外活動を行いました。

① 植物栽培

年長児は、朝顔の栽培、サツマイモの植え付け・収穫、田植えと稲刈り。年中児は、胡瓜の植え付・栽培・収穫・親子クッキング。その他全学年で、親子参加の芋掘りを行いました。

育てるという経験から、命をいただいているという食育に繋がる声かけをしています。

② 泥んこ遊び

田舎とは言え、家庭では、なかなか泥んこになって遊ぶ機会がありません。そこで、田んぼに水を張ってもらい、蛙などの小動物を見つけながら、ドロドロになって自然と触れ合いました。

③ 園外活動

自然の家に宿泊し、天体望遠鏡で星空の観察をしました。通常では見られない土星の輪を見て、遠くにある星の姿に驚いていました。



①の写真（胡瓜の植え付け）



①の写真（稲刈り）



②の写真（泥んこ遊び）



③の写真（天体観測）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

経験に基づいて活動しました。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

毎年前年度の活動を参考に、子ども達が楽しめることに重点を置き、驚きや感動が得られる様に配慮しています。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

職員会を開き、担任以外で協力できる職員にも共通認識を図る様な説明をしています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

活動後に、良かった点や課題となる点を洗い出し、翌年度に繋げる様にしています。

芋掘りの反省では、今年度は親子参加型に変えたことで、親子の触れ合いの場になったし、保護者間の交流にも役だったと思います。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

写真を掲示することで発信していますが、その感想を耳にすることはほとんどありません。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

日々の業務が忙しく、交流や連携はできません。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

前項同様、できていません。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

一定の効果は感じますが、設問のごとき特筆すべき内容はありません。

- （3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

幼児にできることを、安全に、楽しくしたいと思います。
具体的内容は、本年度の内容を元に、担任との話し合いで決めたいと思います。